



カジノを含むIR調査

大友 健

**問** 市長が9月定例会前に「調査しない」と判断したのは大英断だと評価する。国際競争力を保てる施設にはならないという見込みからか。

**市長** 国の有識者会議の取りまとめは、県あるいは大都市を意識した内容で、岩沼市が介在する余地はないと判断しました。

**問** 申請主体になれば考え方が変わるのか。現時点での方針か。

**市長** ブレることはありません。主体にはならないつもりです。

**問** 市民から賛成、反対の要望書が出ているが何件か、市長はどう受け止めたのか。

**市長** 推進の立場が2件、反推進が5件、市長への手紙での反推進が1件。市民の福祉向上につながるかどうかの見極めをしっかりとやらなければならぬと思います。

**問** 調査をしてほしいという理由は何だったのか。

**市長** 可能性を探るべきとのことでしたが、申請主体になれないわけですから、調査はしないという結論を出しました。

**問** 調査をしないでほしいという人たちの意見が市長の判断に影響したと思われるがどうか。

**市長** 読んでの感想はありますが、直接ではありません。

**問** かつて、カジノを含む観光特区うんぬんの請願があり、数十年前には場外馬券売り場誘致問題があった。岩沼市民には賭け事を嫌う健全な市民意識が強くあるのではないか。

**市長** 私の個人的な判断では、行政側がギャンブルから得た利益を何かするということ発想は持ちたくないと考えます。

カジノで振興、どう思う

**問** カジノで地域振興や観光振興を図ろうとする国の考えをどう思うか。

**市長** 国に意見を言うつもりはあませんが、ギャンブル依存症を出しながら経済発展するのは否定的に考えています。

◎その他の一般質問

・新火葬場、現火葬場



市営亀塚第一住宅跡地の活用

佐藤 淳一

**問** 岩沼駅から近い、条件のよい土地を活用する必要があるのか。

**総務部長** 近隣の公共施設（保育所など）の状況、子育て支援機能の拠点を岩小学区にどうしても整備したいため、適地と考えました。

**問** 跡地の活用方法は、これからのまちづくりの方向性や市民福祉の在り方に大きく影響すると考えるが、その重要性をどう考え、事業に反映させていくのか。

**総務部長** 生涯活躍できる地域社会をつくること、これが今後の重要な方向性と考えます。今後検討される地域共生社会の実現にもつながらる視点で、跡地活用について考え、その方向性に沿った事業者を募集します。

**問** 跡地を活用した事業の運営を支える収益構造について伺う。

**総務部長** 事業者の提案内容によりますが、必須事項の保育所運営は認可保育事業ですので、市給付費の支出、施設は国等からの保育所等整備交付金が交付されます。

**問** 高齢者を支え、生涯活躍していただくことは大切だが、市の収入(税)を生み出していく働く世代、子育て世代が安心して活躍できる岩沼市であることが、高齢者がこれからも安心して暮らしていけることにもつながると考える。今回の事業では、保育所や子育て支援センターのほかに、若い世代が高齢者と交流できる機能も追加してはどうか。

**総務部長** ぜひそのような提案で施設をつくっていただくことを期待しています。

子育て環境の更なる整備

**問** 若い世代への予算配分が少ないのではないかと、現役世代の思いにこたえ、放課後児童クラブや子ども教室を併設し、働きたくても働けない、働いていてもやめざるを得ない共働き世代の小1の壁をなくす、そういった機能も加えてほしいと思うがどうか。

**市長** 若い人が働きやすく、岩沼に住んでもらえるような環境整備を進めていきます。

◎その他の一般質問

・市税等の収納